

令和5年度 就職先アンケート実施結果

教学部・キャリアサポートセンター

1. 目的

今後の教育内容や方法、在学生の就職指導、および卒業生へのキャリア教育の充実を図る。

2. 調査方法

郵送による依頼文書送付と Google フォームによるオンライン調査

3. 調査対象

212 件（官公庁 7 件、企業 73 件、教育機関 10 件、病院 89 件、保育園等・福祉施設 33 件）

4. 回答期間

令和5年8月10日（木）～令和5年9月4日（月）

5. 回答状況

111 件 / 212 件 = 52.4%

以下の回答の前に、本学の卒業生（個人を特定しない）について、学科（
 ）内主な資格等）をイメージしてお答えください...い。複数学科回答する場合は別途ご回答ください。
 111 件の回答



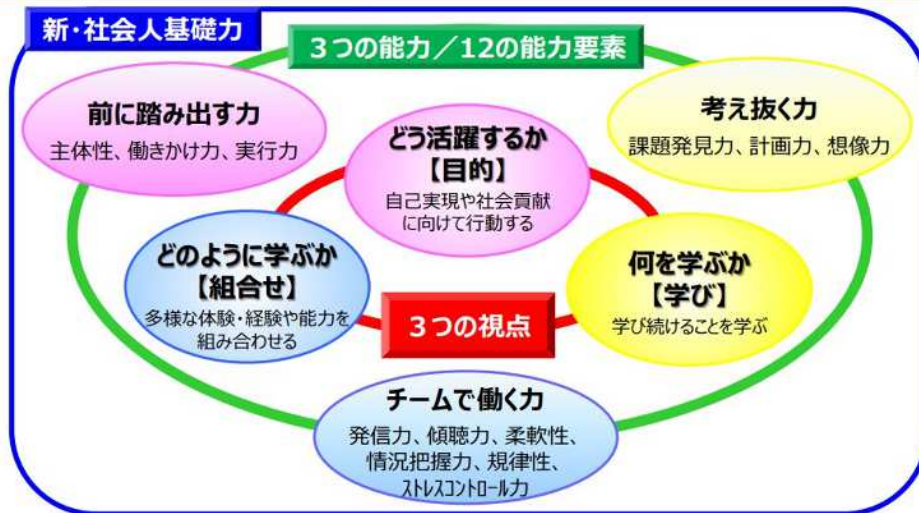
学 科	情報	福祉	栄養	薬	看護	理学	子ども	生物	合計
回答数	22	16	18	17	15	7	11	5	111

※複数の卒業生が入職・入社している勤務先のため、同一企業が複数回答可能。

経済産業省のホームページ (<https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/index.html>) に記載された資料を基に、本学学生がそれぞれの能力や視点を有しているか、回答をいただいた。

「人生100年時代の社会人基礎力」の見直しのイメージ

「新・社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力/12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、目的、学び、組合せのバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置付けられる。



3

「人生100年時代の社会人基礎力」とは

「人生100年時代の社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力/12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション(振り返り)しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置付けられる。

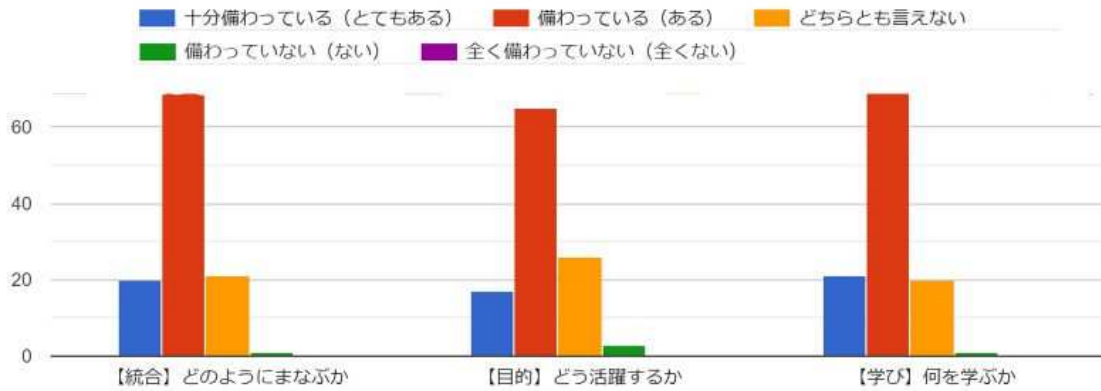


経済産業省 社会人基礎力ホームページより抜粋

3つの視点について

統合：どのように学ぶか／目的：どう活躍するか／学び：何を学ぶか

3つの視点(回答111件)

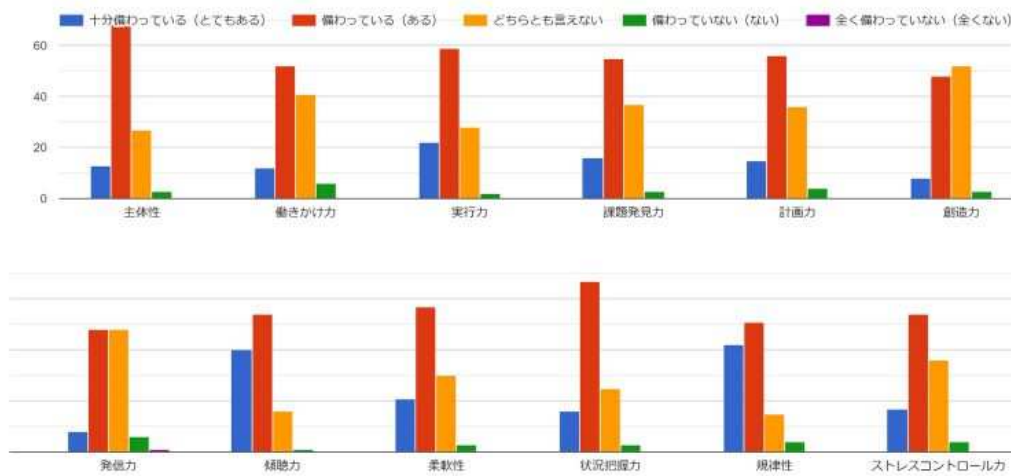


回答状況から、本学卒業生については概ね「3つの視点について」は備わっているとの回答を得た。

12の能力要素について

主体性／働きかけ力／実行力／課題発見力／計画力／創造力／発信力／傾聴力／柔軟性／状況把握力／規律性／ストレスコントロール

12の力(回答111件)



社会人基礎力12の能力要素についてそれぞれ卒業生の状況を回答いただいた。

グラフで「どちらでもない」「備わっていない」「全く備わっていない」との回答が多い能力要素は、「創造力」「発信力」であった。やや多かったのは「働きかけ力」「課題発見力」「計画力」「ストレスコントロール力」である。

それぞれ経済産業省の説明を以下抜粋する。

能力要素	説明
創造力	新しい価値を生み出す力
発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力
働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力
課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力
計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力

オレンジ：前に踏み出す力（Action）

イエロー：考え抜く力（Thinking）

ブルー：チームで働く力（Teamwork）